

2015年度 センター試験 地学基礎 (本試験) 分析

全体概況

試験時間 2科目で60分

大問数・解答数	大問数：3題	解答数：15問
総評		
<p>全体的に教科書に沿った基礎～標準レベルの問題である。地学基礎に30分を費やすことを前提にすると、問題量は妥当と言えるだろう。基礎知識を問う問題が多いが、与えられたデータや図を注意深く読み取り、多少の計算が必要な問題も少なくなかった。高得点をとるには、普段の学習において正確かつ詳細な知識の習得が重要なのはもちろんだが、それに加えて図やデータをもとに計算し考える訓練をしておく必要がある。</p>		

大問別分析

大問	出題分野・テーマ	配点	コメント
第1問	「地球の活動」「生物の進化」	23点	大半は基礎～標準レベルの問題である。Aの問3は震源域の面積に関する図やデータの読み取りと計算が求められるため、多少時間がかかったであろう。Bの問5は古生物に関する詳細な知識が問われているが、消去法で解ける。
第2問	「大気と海洋」「日本の自然環境」	16点	大半は標準レベルの問題である。ただし、Aの問2が大気と海洋の構造について、問3が大気の構造や運動についての問題であるが、これらは正確かつ詳細な知識が必要とされる問題であった。
第3問	「太陽」	11点	全て標準レベルの問題である。太陽について、黒点の動きを示す図の正確な読み取りと、それに基づいて太陽の自転周期を計算する問題であり、正確な知識と計算力が必要とされる。